

# 伐採ボーラの木を未来に残す

大阪電気通信大学は、SDGsの理念を積極的に授業に取り入れ、様々な学部学科の枠を越えたプロジェクトが進行中だ。

例えば、寝屋川キャンパス大規模リニューアル工事に伴い、伐採された樹木などを再利用する「ポプラの木を未来に残すプロジェクト」が始まった。工学部建築学科の学生たちが工夫を重ねて木工製品に蘇らせている。

昨年1月10日、製作した椅子22脚を隣接する市立中央幼稚園に贈

呈した。その後も引き続き、取り壊し予定の館内で使用しなくなつた講義机や椅子の廃材を利用して収納棚や収納BOXと独創的な作品創りは続く。実学で地域に貢献する大学らしい実践的取り組みといえよう。



ユニークな作りの椅子に園児たちは興味津々